



映画は人間の感性を豊かにするもの？！

～先月に二本の映画を観て感じたこと～

5月は会計事務所にとって繁忙期の最終コーナーです。気分転換も必要だと思い2本の映画を観ました。1本は「母～小林多喜二の母の物語～」、もう1本は「家族はつらいよ2」です。

「母」は、主演の寺島しのぶさんの演技力に引き込まれました。寺島さんは、数年前に若者の間でブームになった「蟹工船」など幾多のプロレタリア小説で有名な小林多喜二の母のセキの役を演じました。

この作品は、そのセキを中心に描かれています。生涯、息子の多喜二を信頼し誇りに思うセキの母としての愛情がたっぷりと描かれています。この映画には戦場のシーンもなくひどい拷問のシーンもありますが、悪名高い治安維持法がどんな形で牙を剥いたのかはよく描かれています。そして、現在審議中の「共謀罪」が戦後の治安維持法になりはしないかを危惧しました。

「家族はつらいよ2」は、前作の「熟年離婚」のテーマから「高齢者の運転免許」や「下流老人といわれる高齢弱者の孤独」をテーマにしたドタバタ喜劇です。盛りだくさんの笑いに、ちくり風刺をきかせたなかなかの秀作でした。

主人公の長女が税理士という役どころから日本税理士会連合会はこの映画に協賛をしています。税理士役を演じた中嶋朋子さんの台詞は正確ではないかもしれませんが、「いま、相続のことで忙しいの」「このお金は税金よ」の2カ所しかなかったのが残念でした。

両作品は同じ山田姓の監督です。「母」は火砂子監督、「家族はつらいよ2」は洋次監督、それぞれ個性もあり味もある作風に仕上がっています。因みに火砂子監督は1932年1月生まれ、洋次監督は1931年9月生まれで同級生です。育ってきた時代背景は同じで、平和を希求する思いは共通していると思います。

違うのは、片や火砂子監督は独立系の現代プロダクションで映画館での一般公開はなく自主上映が中心、片や洋次監督は松竹で配給されほとんどの映画館で観ることができます。驚いたのは、映画離れの時代、「母」は山口県教育会館で上映されましたが、1日2回の上映で362名の入場者がありました。一方、マイカルシネマ防府で公開初日に観た「家族はつらいよ2」には、私たち夫婦を含め10人にも満たない観客数であったことは残念です。

良い映画は観る人に感動を与え、明日からの勇気を抱かせてくれるものだろうと思います。また、映画を自宅のTVで観るのも良いですが、上映会場まで足を運んで鑑賞した方がより一層感動が深まるような気がします。

代表社員・税理士 金巨 功

～経営理念～

- 一、納税者の権利を守り、中小企業と国民を大切にす税制の実現をめざします。
- 一、地域とそれをささえる中小企業の繁栄のため、税務・会計・経営のエキスパートになることをめざします。
- 一、みんなで創造し、みんなで成長しあえる、働き甲斐のある事務所をめざします。

税務カレンダー



【6月の税務】

内容	納付/申告期限
個人の道府県民税及び市町村民税の納付（第1期分）	6月、8月、10月及び1月中（均等割のみを課する場合には6月中）において市町村の条例で定める日
5月分源泉所得税・住民税の特別徴収税額・納期の特例を受けている者の住民税の特別徴収額（28年12月～29年5月分）の納付	6月12日
4月決算法人の確定申告	6月30日
1月、4月、7月、10月決算法人の3月ごとの期間短縮に係る確定申告（消費税・地方消費税）	6月30日
10月決算法人の中間申告……半期分	6月30日
消費税の年税額が400万円超の1月、7月、10月決算法人の3月ごとの中間申告（消費税・地方消費税）	6月30日
消費税の年税額が4,800万円超の3月、4月決算法人を除く法人の1月ごとの中間申告（2月決算法人は2か月分）（消費税・地方消費税）	6月30日

【7月の税務】

内容	納付/申告期限
所得税の予定納税額の納付（第1期分）	7月31日
所得税の予定納税額の減額申請	7月18日
固定資産税（都市計画税）の第2期分の納付	7月中において市町村の条例で定める日
6月分源泉所得税・住民税の特別徴収税額の納付	7月10日
5月決算法人の確定申告	7月31日
2月、5月、8月、11月決算法人の3月ごとの期間短縮に係る確定申告（消費税・地方消費税）	7月31日
11月決算法人の中間申告……半期分	7月31日
消費税の年税額が400万円超の2月、8月、11月決算法人の3月ごとの中間申告（消費税・地方消費税）	7月31日
消費税の年税額が4,800万円超の4月、5月決算法人を除く法人・個人事業者の1月ごとの中間申告（3月決算法人は2か月分）（消費税・地方消費税）	7月31日